

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

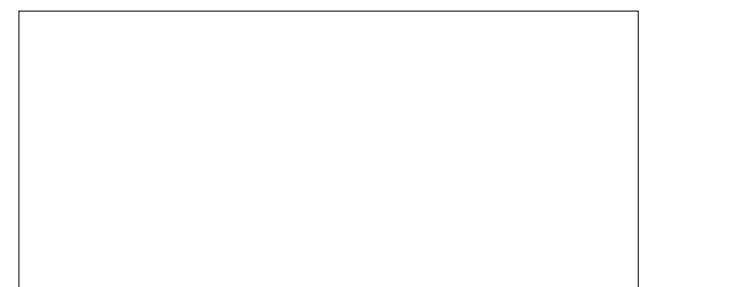
△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも見られるところに必ず保管してください。

M-670

© 2004 Sony Corporation Printed in China



品名 マイクロカセット™コーダー
型名 M-670
保証書 T11-1001A-4

ここに保証書があります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保証書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- マイクロカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- カセットテープは「MICROCASSETTE™」の表示があるものをご利用ください。この表示のないテープは、このマイクロカセットコーダーでは使用できない場合があります。

テープA面には小さくぼみがあり、暗いところでもA面B面の区別ができる。



あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

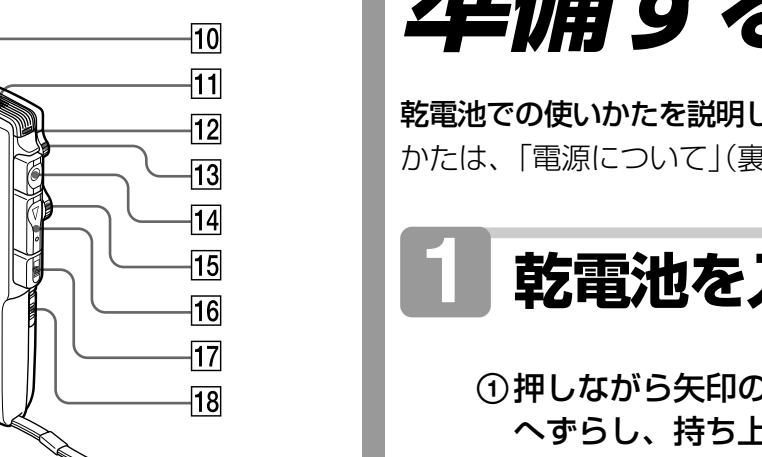
保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間にについて

当社ではマイクロカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によつては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

各部のなまえ



①イヤホンジャック
②マイク(プラグインパワー)ジャック*
③VORスイッチ
④テープスピードスイッチ*
「2.4cm」側に凸点があります。
⑤DC IN 3Vジャック
⑥テープカウンター
⑦電池入れ
⑧テープカウンタリセットボタン
⑨(電池交換)ランプ
⑩音量▲つまみ*

音量「大」の方向に凸点があります。
⑪マイク(内蔵マイク)
⑫録音/電池ランプ
⑬▲一時停止スイッチ
⑭●(録音)ボタン
⑮早送り/キュー◀▶巻戻し/レビューつまみ
⑯◀(再生)ボタン*
⑰▶■(カセット取り出し・停止)ボタン
⑲速聞き再生→スイッチ

* 凸点(突起)があります。操作の目印としてお使いください。

⑪マイク(内蔵マイク)
⑫録音/電池ランプ
⑬▲一時停止スイッチ
⑭●(録音)ボタン
⑮早送り/キュー◀▶巻戻し/レビューつまみ
⑯◀(再生)ボタン*
⑰▶■(カセット取り出し・停止)ボタン
⑲速聞き再生→スイッチ

FAX (共通) 0120-333-389

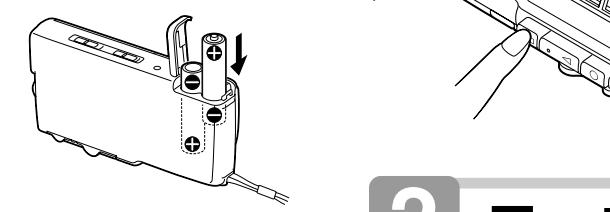
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

準備する

乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」(裏面)をご覧ください。

1 乾電池を入れる

- ①押しながら矢印の方向へずらし、持ち上げる
②単4形乾電池2本を入れる



2 テープ速度を選ぶ

乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池をお使いください。

テープスピードスイッチをどちらかに合わせる



●ボタンを押す
◀ボタンが同時に押され、録音が始まります。

録音中は、音の強弱に合わせて録音/電池ランプの明るさが変わります。

2.4cm: 通常の録音をするとき。
「1.2cm」のときより良い音で録音できます。

1.2cm: テープを2倍の長さに使って録音するとき。
(MC-60を使うと往復120分の録音ができます。)

操作 押すボタン、すらすスイッチ

録音を止める ▶■

一時停止する ▲一時停止を矢印の方向にずらす
(録音/電池ランプは消灯する)。

一時停止を解除するには、▲一時停止を元に戻す*

カセットを取り出す ▶■を押して録音を止めてから、再度▶■を押す。

* 一時停止は▶■ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップボーズリリース機能)。

** 早送り、巻戻しをしてテープが巻き取られたあとは、必ず▶■ボタンを押してください。そのままにしておくと電池が消耗します。

テープ速度がおかしいときは、テープスピードスイッチの位置を確認してください。

テープの終わりまで来ると、自動的に止まります。

(オートシャットオフ機能)

操作 押すボタン、すらすスイッチ

録音を止める ▶■

一時停止する ▲一時停止を矢印の方向にずらす
(録音/電池ランプは消灯する)。

一時停止を解除するには、▲一時停止を元に戻す*

カセットを取り出す ▶■を押して録音を止めてから、再度▶■を押す。

* 一時停止は▶■ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップボーズリリース機能)。

操作 押すボタン、すらすスイッチ

録音を止める ▶■

一時停止する ▲一時停止を矢印の方向にずらす
(録音/電池ランプは消灯する)。

一時停止を解除するには、▲一時停止を元に戻す*

カセットを取り出す ▶■を押して録音を止めてから、再度▶■を押す。

* 一時停止は▶■ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップボーズリリース機能)。

操作 押すボタン、すらすスイッチ

録音を止める ▶■

一時停止する ▲一時停止を矢印の方向にずらす
(録音/電池ランプは消灯する)。

一時停止を解除するには、▲一時停止を元に戻す*

カセットを取り出す ▶■を押して録音を止めてから、再度▶■を押す。

* 一時停止は▶■ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップボーズリリース機能)。

操作 押すボタン、すらすスイッチ

録音を止める ▶■

一時停止する ▲一時停止を矢印の方向にずらす
(録音/電池ランプは消灯する)。

一時停止を解除するには、▲一時停止を元に戻す*

カセットを取り出す ▶■を押して録音を止めてから、再度▶■を押す。

* 一時停止は▶■ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップボーズリリース機能)。

操作 押すボタン、すらすスイッチ

録音を止める ▶■

一時停止する ▲一時停止を矢印の方向にずらす
(録音/電池ランプは消灯する)。

一時停止を解除するには、▲一時停止を元に戻す*

カセットを取り出す ▶■を押して録音を止めてから、再度▶■を押す。

* 一時停止は▶■ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップボーズリリース機能)。

操作 押すボタン、すらすスイッチ

録音を止める ▶■

一時停止する ▲一時停止を矢印の方向にずらす
(録音/電池ランプは消灯する)。

一時停止を解除するには、▲一時停止を元に戻す*

カセットを取り出す ▶■を押して録音を止めてから、再度▶■を押す。

* 一時停止は▶■ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップボーズリリース機能)。

操作 押すボタン、すらすスイッチ

録音を止める ▶■

一時停止する ▲一時停止を矢印の方向にずらす
(録音/電池ランプは消灯する)。

一時停止を解除するには、▲一時停止を元に戻す*

カセットを取り出す ▶■を押して録音を止めてから、再度▶■を押す。

* 一時停止は▶■ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップボーズリリース機能)。

操作 押すボタン、すらすスイッチ

録音を止める ▶■

一時停止する ▲一時停止を矢印の方向にずらす
(録音/電池ランプは消灯する)。

一時停止を解除するには、▲一時停止を元に戻す*

カセットを取り出す ▶■を押して録音を止めてから、再度▶■を押す。

* 一時停止は▶■ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップボーズリリース機能)。

操作 押すボタン、すらすスイッチ

録音を止める ▶■

一時停止する ▲一時停止を矢印の方向にずらす
(録音/電池ランプは消灯する)。

一時停止を解除するには、▲一時停止を元に戻す*

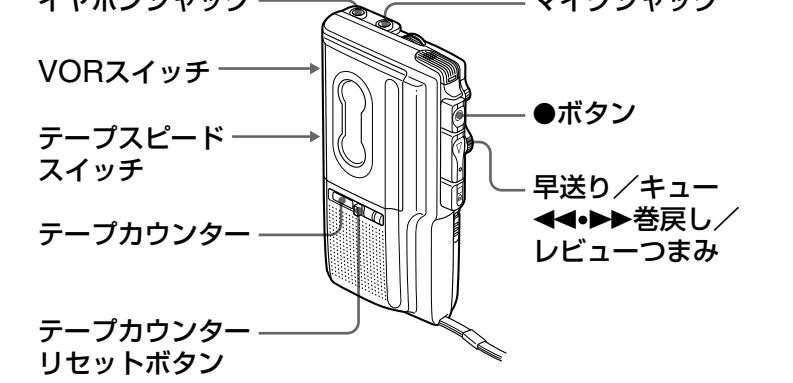
カセットを取り出す ▶■を押して録音を止めてから、再度▶■を押す。

* 一時停止は▶■ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップボーズリリース機能)。

操作 押すボタン、すらすスイッチ</p

▶録音する一応用

録音の便利な機能を使う



テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンタリセットボタンを押して「000」にします。頭出しに便利です。

音がしたとき自動的に録音を始める(VOR機能)

VORスイッチを「入」にして●ボタンを押します。ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります。録音の途中でテープを止める手間がはぶけるので口述録音するときに便利です。また、空録音の部分がなくなり、テープが有効に使えます。録音中にVORスイッチを「入」にすることもできます。

ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。VORスイッチを「入」にしても思い通りに録音できないときは、VORスイッチを「切」してください。
- 音を感じてから録音が始まるので、言葉の初めの部分は録音されないことがあります。大切な録音のときは、VORスイッチを「切」してください。

録音中の音を聞く

別売りのイヤーレシーバーをイヤホンジャックにつなぎます。聞こえる音量は一定で、音量▲つまみで調節することはできません。録音される音の大きさも一定に保たれます。

後追い録音をする

再生中に●ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音したもの的一部分を修正したいときなどに便利です。

録音したものすぐに聞く (ワンタッチレビュー)

録音中に早送り/キュー◀▶・巻戻し/レビューつまみを▶▶巻戻し/レビューの方向にすらすとテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

外部マイクや他の機器から録音する

ご注意 録音する前に

- 接続コード類のプラグはしっかりと差し込んでください。
- 接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。
- 外部マイク(別売り)の感度は製品によって異なります。VOR機能を使う場合、VORスイッチを「入」にしますが、思い通りに録音できないときは「切」にしてください。
- 下記の接続例ではソニー製品を使用しています。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

外部マイク(別売り)から録音する

マイクジャックにプラグをしっかりと差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクをつなぐと、マイクの電源は本機から供給されます。

ミニプラグ付きマイクロホン ECM-C10(別売り)など

電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなります。再生/録音中に録音/電池ランプが暗くなり、△(電池交換)ランプが点滅したら、乾電池を2本とも同じ種類の新しいものと交換してください。

本機にカセットを入れ、●ボタンを押します。

他の機器から録音する

マイク(プラグインパワー)ジャックへ RK-G64(別売り)などを接続します。

EAR、EARPHONE、REC OUT、回などへ

録音/電池ランプが 明るく点灯 残量は充分です。
録音/電池ランプが 暗く点灯 残量が少なくてきました。
△(電池交換)ランプ 乾電池を交換してください。

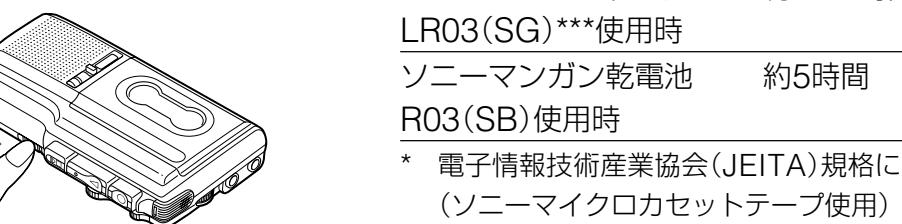
1 本機にカセットを入れます。

- 2 録音する音を他の機器から出し、聞きやすい音量にします。(テレビやラジオのREC OUTや回ジャックなどから録音するときは、他の機器で音量を変えても録音には影響しません。)
- 3 本機の●ボタンを押します。

▶テープを聞く一応用

速聞き再生する

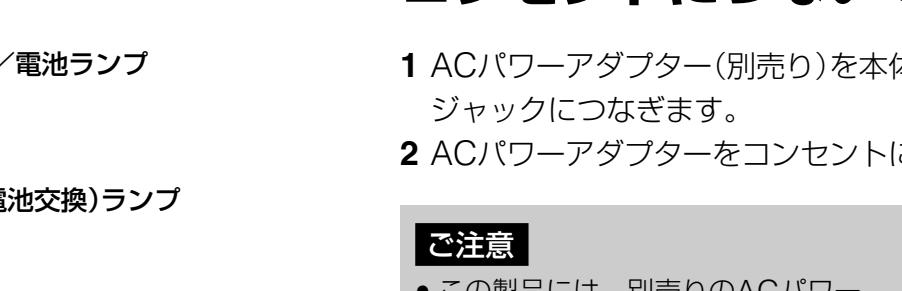
速聞き再生→スイッチを矢印の方向にすらします。元の速度に戻すには矢印の反対方向にすらします。効率良く聞き返したいときに便利です。



▶電源について

電池を交換する時期

電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなります。再生/録音中に録音/電池ランプが暗くなり、△(電池交換)ランプが点滅したら、乾電池を2本とも同じ種類の新しいものと交換してください。



録音/電池ランプが 明るく点灯 残量は充分です。
録音/電池ランプが 暗く点灯 残量が少なくてきました。
△(電池交換)ランプ 乾電池を交換してください。

▶その他

お手入れ

よい音で聞くために

10時間程度使ったら、市販のクリーニング液でヘッド、キャブスタン、ピンチローラーを綿棒などできれいにしてください。

- ヘッドが点滅し始めても、しばらくはテープが正常に動きますが、スピーカーから大きな雑音が出たり正しく録音されていないことがありますので、必ず乾電池を交換してください。
- 次のような場合には電池を交換する必要はありません。
 - 再生中に音量を上げたときなどに△ランプが音に応じて一時的にちらついた場合。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
 - テープの動きはじめやテープの終わりで、△ランプが瞬間に点灯した場合。
 - 早送り・巻き戻し、またはキュー・レビュー中に△ランプが点滅した場合。

電池の持続時間*

使用電池 録音時 再生時**

ソニーアルカリ乾電池 約14.5時間 約9時間

LR03(SG)***使用時

ソニーマンガン乾電池 約5時間 約2.5時間

R03(SB)使用時

* 電子情報技術産業協会(JEITA)規格による測定値です。(ソニーアルカリ乾電池使用)

** 音量7分目程度でスピーカー再生した場合。

***日本製ソニーアルカリ乾電池LR03(SG)で測定しています。

使用上のご注意

録音について

- カセットテープは^(MICROCASSETTE)の表示があるものをご使用ください。

カセットトバが閉まらないと、内蔵マイクを使っての録音はできません。

録音中の音をイヤーレシーバーで聞いているとき、イヤーレシーバーの音をマイ克が拾い、ビーという音が生じることがあります(ハウリング現象)。この場合はイヤーレシーバーをはずしてください。

操作ボタンを押しても動作しない。

• 乾電池の△と□の向きが正しくない。

• 乾電池が消耗している。

• 乾電池を交換してください。

• △停止スイッチが矢印の方向へすらされています。

• ACパワーアダプターが正しく接続されていません。

• ACパワーアダプターやカーバッテリー

コードが本体に差したままになっています。

• ACパワーアダプターは、容易に手が届くような電源コン

セントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

ご注意

• この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E30L(極性統一形プラグ JEITA規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になります。

• ACパワーアダプターは、容易に手が届くような電源コン

セントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

大切な録音を守るには

カセットのツメを折ります。ツメを折ると録音状態にできなくなるので録音した音声を誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をふさぐと再び録音できます。図に示された部分以外にはテープを貼らないでください。

ツメの折りかた

ツメを折り曲げて、ツメの穴を塞ぎます。

再び録音するには

ツメを折り曲げて、ツメの穴を塞ぎます。

取り扱いについて

お手入れ

よい音で聞くために

10時間程度使ったら、市販のクリーニング液でヘッド、キャブスタン、ピンチローラーを綿棒などできれいにしてください。

- ヘッドが点滅し始めても、しばらくはテープが正常に動きますが、スピーカーから大きな雑音が出たり正しく録音されていないことがありますので、必ず乾電池を交換してください。
- 次のような場合には電池を交換する必要はありません。
 - 温度が非常に高いところ。
 - 直射日光のある場所や暖房器具の近く。
 - 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - ほこりの多いところ。

• VORが働いている。VORを使用しないときは、スイッチを「切」にする。

• ヘッドが汚れている。

• ヘッドが汚れています。

• ヘッドが汚れています。

• ヘッドが汚れていています。

症状

原因/処置

• カセットが入っていない。

• カセットのツメが折れている。

→録音内容を消す場合は穴をふさぐ。

• 乾電池が消耗している。

→2本とも新しいものと交換する*。

• 次のような場合には電池を交換する必要はありません。

→温度が非常に高いところ。

→直射日光のある場所や暖房器具の近く。

→窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。

→風呂場など湿気の多いところ。

→磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。

→ほこりの多いところ。

→ほこりの多いところ。